

日本・世界の経済・財政

北海道大学法学研究科・公共政策大学院

「宮脇淳教授のニュースレター」

国と地方の財政・金融そして公共政策の面から研究。地域に足場を持ちながら今後の制度設計や地域経営のあり方等、国そして各地域の実践的課題に挑戦。

ユーロ経済:減速続く

2022/08/08 第 841 号

朝日田コーポレーション

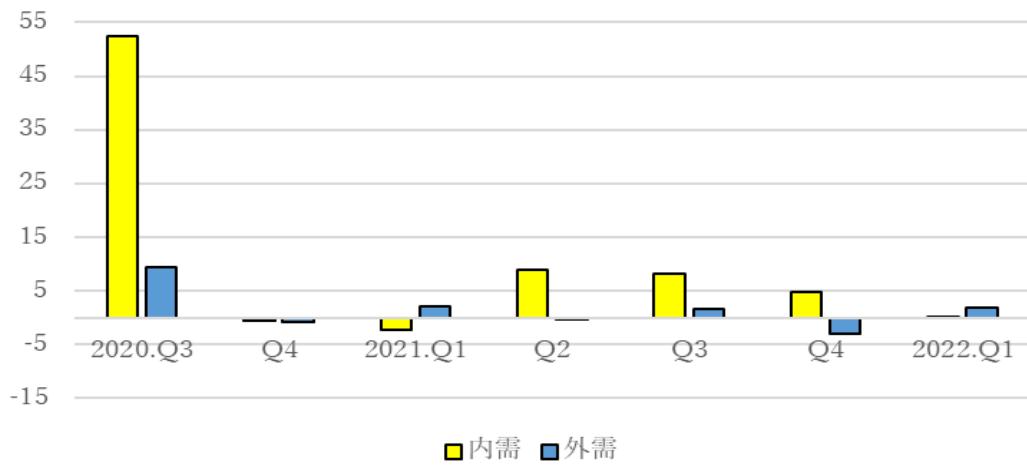
●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp

●ホームページ: http://www.sapporo-php.co.jp:

GDP(前期比年率%)



内外需別(前期比年率%)



(資料)EU 統計局「GDP 統計」より作成。

ユーロ経済の 2022 年 4-6 月期実質 GDP は、前期比年率で 2.8% となり 1-3 月期に比べて若干加速したものの、低い水準となっている。インフレ圧力は、日常必需品全体に及んでおり一段と加速する状況にあり、今後も経済成長を抑制する要因となることが避けられない。とくに、年明け以降、個人消費を中心とする内需の落ち込みが激しくなっており、生活防衛的姿勢も強まっている。さらに、欧州中央銀行の利上げも行われ、経済活動を抑制させる要因が重なっている。ウクライナ情勢の不透明感も強く、ユーロ経済の外需にも影響し企業活動も不透明感が増している。